

【開催日程・会場】

・平成30年 ① 10月11日(木)・② 16日(火)・③ 23日(火)

午前10時00分～午後4時30分(受付開始=9時30分)

・「伊場仙セミナー」伊場仙ビル7階

東京都中央区日本橋小舟町4-1 (*当日連絡先:事務局 03-3663-2101)

【募集要項】

(1)受講対象者 企画、生産・品質管理及び仕入・営業関係等どなたでも受講可能ですが、①②コースは基礎的講座、③コースは基礎～実務までの講座(経験2～3年以上向き)となります。

(2)定員 各コース 50名
※先着順により定員になり次第締切らせていただきます。

(3)受講料 ①～③1講座:21,000円(税込) (TAFS組員:16,000円 / JAFIC・東京ニット卸:18000円)
※テキスト・資料代を含む ●昼食は各自、休憩時間内にお済ませいただきます。

(4)申込受付開始 9月10日(月)～

(5)申込方法 別添申込書に必要事項をご記入の上、開催の1週間前迄にFAXにてお申込み頂き、受講料も同日までに下記銀行口座にお振込願います。



※振込手数料は貴社でご負担願います。
ご入金確認後、受講票と会場詳細地図をファクシミリ致します。
請求書「要・不要」の欄に○印も忘れずにお願致します。
また、当組研修セミナーHP申込画面、スマートフォンからもお申込み可能です。こちらも入金確認後、受講券等メールさせていただきます。

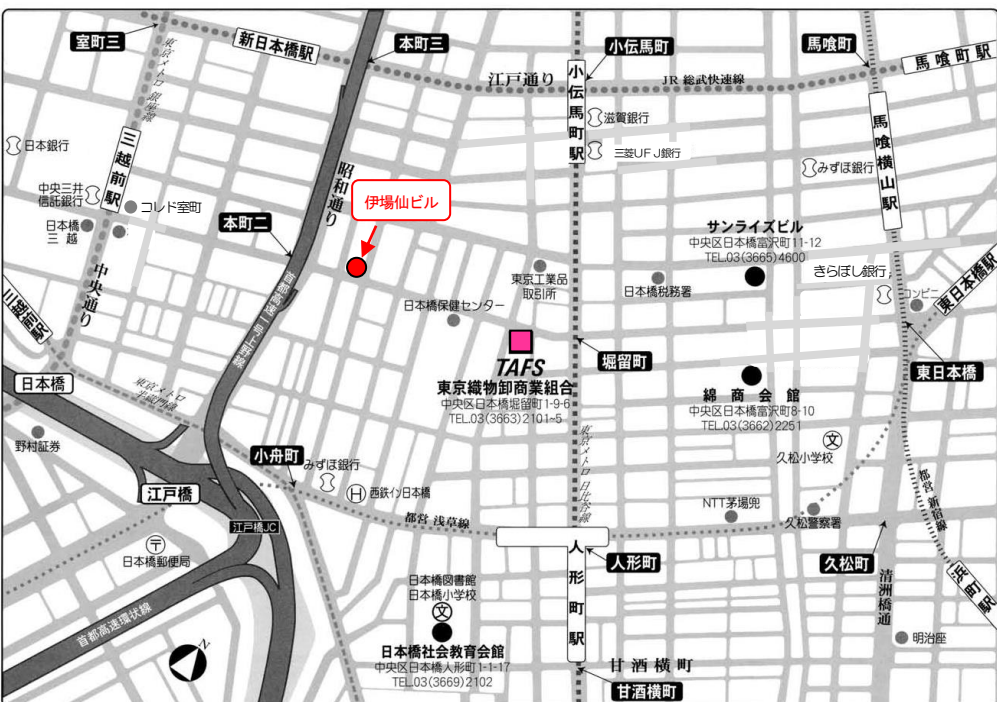
三菱UFJ銀行 大伝馬町支店 普通預金 No.102237 東京織物卸商業組合

【問合せ先】東京織物卸商業組合 担当:風見・新谷 (受付請求および受講券担当:経理課 上田・鶴飼)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-6

TEL 03-3663-2104 Fax 03-3661-5430

HPアドレス <https://www.tafs.or.jp> E-mail housei_gaikan@tafs.or.jp



「縫製と外観検査のポイント研修会」開催内容

※開催内容・配布資料は一部都合により変更になる場合がございます。

講座名・開催日・講師	研修内容	午前の部 (10:00～12:30) (60分休憩)	午後の部 (13:30～16:30)
① 繊維と品質機能 10月11日(木) ㈱エムジー商品試験センター 元取締役技術部長 窪田 一郎 氏	○衣料品の性能を決定する材料の基礎をわかりやすく解説します。素材や生地知識は、あなたの仕事に必ず役立ちます！ 1. 繊維 水洗いの可否などは、繊維の性質によって決まります。 2. 糸 ニットの斜行や織物の収縮などは、組織の性質と糸の性質に影響されます。 3. 織物 生地の風合は、繊維と糸の性質に織物組織が影響します。 4. 編物 1本の糸から編立てられるヨコ編み。その構造と性質をわかりやすく説明します。		
配布資料: ①講座テキスト・添付資料=②「白布の種類」・③「織物の組織」・④第17版「衣料品の見分け方」他			
② 総合基礎(品質管理と法令) 10月16日(火) 草薙弘・A. Q. C 株式会社 代表取締役 草薙 弘 氏	○コンプライアンス:法令の遵守は企業にとって最低限なすべき事項です。このコースでは、企業が消費者に対して安全・安心かつ魅力ある商品を提供するために必要な内容をわかりやすく解説します。家庭用品品質表示法施行規則の一部改正など、消費者行政の動向ポイントも説明します。 1. 品質管理の基本的な考え方 2. 繊維製品品質表示規程の構成 3. 品質表示の基本 4. 取扱表示記号、サイズ表示、原産国表示 5. 品質試験報告書について 6. 染色堅牢度、物性試験等 7. 外観検査の留意点及び縫製品検査報告書について 8. 最近の消費者行政(・家庭用品品質表示法・取扱表示記号 ・特定芳香族アミン法制化・子供服衣料の安全性)		
配布資料: ①講座テキスト(添付資料「縫製と外観検査のポイント」含む)・②第17版「衣料品の見分け方」 その他関係資料			
③ 布帛製品実務 10月23日(火) 三島アパレル技術研究室 主宰 三島良弘 氏	○縫製、検査の基本から実務までアパレルのものの作りを中心に、布帛製品の「縫製と外観検査」について、実際に製品を検査するなど、様々な事象事例を参考に、見て・聞いて・やってみる研修としてわかりやすく解説します。 日本で売られているアパレル製品の70～80%を生産する中国を中心とした海外の縫製・検査(検品)、安全性管理等の実情を映像などによりご紹介、製品検査の要点などについて解説します。 I 縫製 1. 縫製の基本 ・企画設計から販売まで ・アパレル生産の原則 ・良い衣服とは何か ・アパレル製品の基本的な品質機能、チェック項目の例 2. パターン(型紙) マーキング(型入れ) 3. 仕様書・指図書(書き方:見方) 4. 縫製の概要 ・生産方式 ・工程分析の例 ・延反・裁断・仕分け・接着 ・立体化の技法 ・ミシンの押さえと送り機構 II 検査 1. 検査の基本 ・検査の目的、検査項目等 ・事前検査のポイント ・検査結果のフィードバック、検査管理 ・品質設定、合否判定 2. 検査実施上の着眼点 3. 検査実施時の留意点 ・検査を行う際の留意点・製品検査の流れ 4. 検査の実務 ・手順、標準動作 ・柄合わせ基準・許容寸法等 *資料「縫製・検査用語、縫製欠点用語の解説」		
配布資料: ①講座テキスト(添付資料「縫製と外観検査のポイント」含む)・②第17版「衣料品の見分け方」・③「縫い目の種類・縫い形式」 ④検査手順写真「レディジャケット」他			
◆ クレーム対応セミナー 11月14日(水)	[◆受講料・詳細は、別紙ご案内をご参照ください。] こちらの講座は、品質管理に関するクレーム内容ではなく「クレームの対応」に関するメソッドを解説する講座です。 毎回多くの皆様に好評な内容ですので、併せて受講いただけましたら幸いです。		